

●里山農園の枯草焼却処分進む

里山農園の刈草は随分多くの方々のお世話で、見違えるほど綺麗に刈り揃えられました。全体の田圃の大小はありますが19枚の田圃跡が刈り取られています。そして中心を占めているのが丸山で、その部分も3年前に見事に葛や笹竹の除去が進み、子どもたちの遊び場としての小高い小山になり、すっかり様子が変わりました。

昨年末から木津川堤防から運び込んだ刈草の処分に力を注いでいます。綺麗に乾燥してしまえば片付けるのも簡単ですが、時々降る雨や霜で湿りきっているのではなかなか大変です。昨日は風が強く、少し雑談に時間を取っていましたが隣接する刈草の塊に燃え移っていました。この日は農園の作業日でしたので6人の方がおいででしたので大事にならずにおさまりました。しかし予定地外では十分に消火できていないかもしれないので当日の20時に森島さんが、そして翌朝7時半頃に金田さんが点検に見回って下さいました。少々くすぶった様子の湯気が出ていたので、バケツ3杯程の水をかけて処理されました。特別心配するほどの残り火はなかったということでした。焼却後の確認も十分気を付ける必要があります。

●京都府環境フェスタ出展参加

コロナの関係で対面の取組がしばらくなかったのですが、今年度は再開されましたので、里山の会として松かさツリーと竹サインペンで出店することに致しました。活動紹介のチラシをフェンス一面に張り出そうと思います。七草摘みや七草粥、野草を食する会や、親子花見乗船体験。植物観察会。魚とり、ホタルの夕べと里山音楽会など40枚ほどの展示です。そして子供たちに里山の会の得意の松かさツリーづくりや、2年ほど前から取り組んできた「竹サインペン」について芯付けを行ってもらう取り組みを行う準備をしています。松かさツリーづくりは何処にでもある松かさ、京田辺市の木と指定されているナンキンハゼの実を色付けして、それを松ぼっくりに張り付ける20分ほどで完成する取り組みです。竹サインペンづくりは真竹を竹で鉛筆状に加工して竹に穴をあけて芯をつけて出来上がるものです。これは竹の進出に悩む農家の悩み解消と、ゴルフ場などで使用されているポリエチレン鉛筆にとってかわるプラスチック（海ゴミ）対策として、そして障害者に製作をしてもらって収益があつて人権が保障される取り組みを狙って制作したもので、このチャンスを生かして宣伝になればと思っています。たくさんの参加応援支援にお越しをお願いします

●炭焼き作業 今年も実施 炭窯点検進む

2月25日(日)に炭焼窯の着火日を予定して取組みを進めています。そのために炭の原木(生木)は少なくとも切り出してから30日は乾燥させておくことが必要だと打田の炭焼き窯の場合は言われてきました。その間に太さ直径14cm程度の原木に割り揃えることが良い炭を生産できる基本だと言われ伝えられてきました。こういう経験を活かして来たる1月20日に原木を切り出すことにいたしました

京都府環境フェスティバル

里山の会も参加出展します

里山の会スローガン
自然を大切にする
仲間の輪を大きく
する

松かさツリーづくり

竹サインペンづくり

京都環境フェスティバル 2024
2月3日(土) 入場無料
9:45~16:00
京都ハルスプラザ
[京都府総合体育館本大会館]
地下鉄竹田駅より 徒歩約15分

木津川でイタセンバラの復元を目指しています
里山農園で栽培農業や心の癒みをしています
木津川の希少植物の生育や保全をしています
毎週木曜日に週刊ニュースを発行しています
毎週木曜日にやましろ里山の会の
ホームページを更新しています

た。里山農園の10号地や1・2号地に覆いかぶさっていたクヌギの大木は5年前に全て伐採し倒木の恐れから安全に農園作業ができる体制を整えましたが、その折太い葛のツルが巻き付いて大木の根元を伐採しても枝の先端でツルが邪魔をして、最も危険な掛り木となってしまうと予想されたので伐採を諦めました。今回はこの巨大なクヌギを切り倒して10号地での農作業の安全を確保します。これは半分程度は枯れてしまっているようなので慎重な作業が求められます。しっかり倒す方向を確認してロープでの対応策も行っていく作業が必要だと思います。樹木の高さは10mを超えていますし、伐採予定の幹回りは50cm以上の太さですので気を引き締めて作業をお願いします。

●炭焼き作業原木伐採・玉切り・運び出し作業に(20日)里山農園お手伝いを求めています。

原木の伐採を実行することは長年行ってきませんでしたので、久しぶりの作業です。なので作業を簡単に考えず慎重に逃げ場所を確実に確保してから作業に入るようにして下さい。万が一、枝にでも触れると大事ですし、すごく太くて重いものですから人手で救出も不可能です。万一の出来事を予想しておくべきです。くれぐれも慎重な対応をお願いします。

●サンライズ財団へ環境助成金申請

2023年度はフィランソロピー協会から助成金をご寄付いただき活動に利用させていただきました。この寄付金は2年間ゆうちょ銀行からの援助でした。2年間でしたので24年度はサンライズ財団への申込を紹介していただきました。いずれも環境活動団体が対象のようでした。里山の会としては里山農園での活動を中心にした事業名を「自然を大切にする仲間の輪を大きくする事業」として、

- ① 地域での環境整備：京田辺市は人口減少地域ではないが普賢寺地域は高齢化が進み人口が減少して、里山地域は放棄されている。若者の参加を得て公開する農山村の活性化を図る。具体的には栽培農業体験と心に悩みを持つ不登校生たちを癒す場を提供する。
- ② 生物多様性事業：川での活動は危険だと強調され、近年川の豊かさから遠ざけられる風潮になって、近づかなくなっている。魚とりやカヌー体験、竹蛇籠の設置で川の豊かさを作り出す機会を設定する。
- ③ 子どもたちの体験活動と環境教育事業：里山の会では、天然記念物のイタセンパラは2007年までは木津川で自然に生息してきたが、密漁と環境悪化でいなくなり、その復元を目指してきた。この取り組みを子供たちと共に進め郷土の誇りを持てる子育てを図る。

を取組む課題として申請書を提出しました。申請内容は随時掲載させていただきます。

●訃報 里山の会顧問 高垣忠一郎氏 1月3日 死去

会誌巻頭の言葉 9号、20号、29号、53号の4回寄稿
臨床心理学 立命館大学名誉教授 京都新聞に訃報掲載

高垣 忠一郎さん（たかがき・ちゅういちろうさん）立命館大学名誉教授、臨床心理学。3日前（7日）午後7時、京田辺市内の自宅で死去。79歳。高知市出身。葬儀・告別式は家族で行った。喪主は長男 陽平（ようへい）さん。



朝日新聞で報道 七草摘みが紹介されました。1月13日



●春 5 月に安岡さんのメダカ池で繁殖

今年も繁殖してくれそうなので、希望者にお分けしようかと検討中です。

今年もメダカ池で繁殖しましたので皆さんおゆずいします

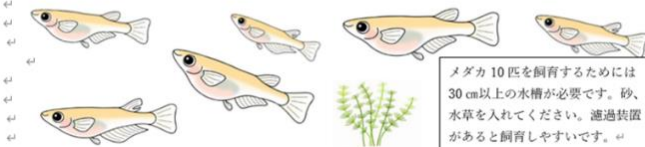
絶滅危惧種Ⅱ類に指定されたメダカを増やしてみませんか
飼ってみたい人はお申し込みください

5 月 18・19 日 (土・日) 午前 10 時~12 時

申し込み先 fddb257@yahoo.co.jp 先着順

記入事項 氏名 住所 年齢 電話 交通手段
集合場所 里山の会事務所 京田辺市田辺深田 15
近鉄線：新田辺駅下車 徒歩 15 分 0774-64-4183
自動車でお越しの場合は市役所の駐車場を利用してください
親子で 10 組 一組:10 匹程度 自分で救い上げてください
人数を制限していますので欠席しないようお願いします

持ち物 網(目の細かいもの) 帽子 水筒 タオル 濡れてもよい靴 筆記具
持ち帰り用バケツ エアーポンプ(ある人) 水を凍らせたペットボトル



メダカ 10 匹を飼育するためには
30 cm 以上の水槽が必要です。砂、
水草を入れてください。濾過装置
があると飼育しやすいです。

●竹蛇籠で魚の棲み処づくり 解説学習会

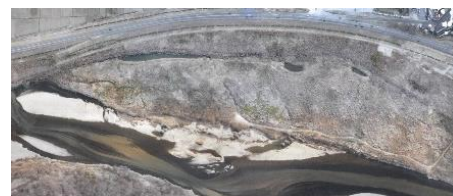
学生さんと一緒に学びましょう 木津川に魚の棲み処づくりにご参加下さい

2023 年度に竹蛇籠を府立植物園で製作(10 月)しました。木津川に設置(2024 年 2 月 17 日予定)します。それに先立って伝統河川工法について現地(2015 年から設置してきた)で現物を案内して先生から解説を頂きます。一昔は重機などなかったので身近にある材料を農民が集めてきて川の特性を生かし、川普請を行って洪水から財産や田畑を守ってきました。それが西洋の技術の導入によって伝統河川工法が忘れ去られました。里山の会はその技術を学び「川は川が作る」ものとして国交省近畿整備局淀川河川事務所の理解を得て、一級河川の木津川本川に竹蛇籠や中聖牛を製作・設置してきました。その効果や役割をご指導いただいた前京都大学準教授の竹門康弘先生から解説を頂きます。こぞってご参加くださるようご案内いたします。

現地見学をして【川は川が作る】

伝統河川工法の成果発表 前京都大学准教授 竹門康弘 氏

2024 年 2 月 3 日 10 時~12 時 駐車場あり



木津川 玉水浜 京都府綴喜郡井手町 玉水橋東詰め広場

(JR 奈良線 玉水駅下車 西へ徒歩 200m) 目印のノボリ立ててあります

参加申込 制限なし 氏名、住所、年齢、参加方法、電話番号を記載の上、メールにて申込。

(メールアドレス：fddb257@yahoo.co.jp)

参加費無料

服装 しっかりした靴 寒風・防寒対策を 帽子 手袋 筆記具

主催 京都府自然環境課

協力 特定非営利活動法人やましろ里山の会